



市民の誓い

私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います

市マスコットキャラクター
おおがきいとおぶちゃん

新庁舎完成開所式 盛大に

新たなまちづくりの拠点オープン



新庁舎東玄関前で行われた記念セレモニー

1月6日のオープンを前に、新庁舎の完成と開所を市民の皆さんとともに祝いし、新たなまちづくりの拠点として、広く親しんでもらおうと、1月5日(日)に「大垣市役所新庁舎完成開

所式」が新庁舎で盛大に開催されました。

開所式には関係者約600人が参加。大垣少年少女合唱団の皆さんがオープニングを飾り、小川市長や日比野市議会議長らがテープカットを行いました。

続いて、東玄関前で、未来を担う子どもたちを代表して北幼保育園の園児と来賓の皆さんが記念セレモニーを行い、くす玉を割って、白ハトと風船が空高く舞い上がりました。



おおがきの歌「これまでからこれからへ」を全員で大合唱

その後、市民合唱団の皆さんがベートーベンの交響曲第9番から「歓喜の歌」を披露し、会場の全員でおおがきの歌を大合唱して、新庁舎のスタートを祝いました。



テープカットを行う小川市長、日比野市議会議長ら

1月15日号 主な内容

- ▶ 電子市役所の取り組み紹介、ありがとう4代目市庁舎など …2～3P
- ▶ 下水道の使用料などを改定、各種税申告のお知らせなど …4～5P
- ▶ 子育て・催しのお知らせなど …6～7P
- ▶ 消防出初表彰、講座のお知らせ、市民伝言板など …8～9P
- ▶ 健康ガイド …10～11P
- ▶ 郷土館所蔵品展、大垣市景観遺産を新たに指定、ジュニア油絵展など …12P

新しい市役所庁舎が約2年間の建設工事を終え、1月6日にオープンしました。現在は、新庁舎と旧庁舎が並んで立つ貴重な景観になっており、旧庁舎解体までの半年間しか見ることができませんので、ぜひご覧いただきたいと思います。

旧庁舎は、前回の東京オリンピックが開催された昭和39年に完成し、玄関ロビーから階段を上がり、両サイドに分かれる方式を採用するなど、4階建てのモダンな庁舎でした。しかしながら、この建築様式は屋内空間が広く、耐震性に問題があったため、建て替えが必要でした。

今回の防災拠点としての新庁舎を建設するにあたって、特に力を入れたのは基礎工事でした。「水の都」であるがゆえの液状化対策や地下水対策、さらには免震構造にするために、1年以上を費やしました。いくら建物耐震化しても、地盤がしっかりしていないと大きな地震には対応できません。

新庁舎は、利用者の多い窓口部門を低層階に配置しているほか、最先端の電子市役所として、ロボットやAI(人工知能)を活用するなど、利便性と効率性を高めています。また、屋上に太陽光パネルを設置するとともに、本市の豊富な地下水による地中熱を利用した空調システムを導入するなどの再生可能エネルギーの活用や、受付カウンターの再生可能エネルギーの木材を多く使うなど、自然環境にやさしい市役所となっています。

今後は、水の都大垣のシンボルとして、水門川沿いに丸の内公園を整備して、市民の皆さんの憩いの場としてまいります。

安全で利用しやすい環境にやさしい大垣の新たなランドマークとして、これからのまちづくりを担う新庁舎をよろしく願っています。



市長のかがやきメール

大垣市長 小川 敏

これまでの旧庁舎から これからの新庁舎へ